

改訂インベントリの作成に係る情報収集の方法(案)

1. 発生源別 VOC 取扱量、大気排出率に係る情報収集の方法

1) データの概要

VOC 取扱量は「製品別・需要分野別出荷量と製品別・物質別 VOC 含有率を乗じた数値」や「製品別・物質別使用量」であり、大気排出率は廃棄物やリサイクルへの移動、排ガス処理装置の処理効率を考慮して、VOC を取り扱った量のうち、大気へ排出される量の割合を示す数値である。

2) データ収集の方法

既存インベントリでは、発生源毎に係る業界団体から上記のデータの提供を受けており、基本的には当該の方法を踏襲する。収集するデータの例を表 1 に示す。ただし、可能な限り、製品別出荷量データと VOC 含有率を乗じた数値と原材料使用量を比較・検討することにより、より精度を向上させることを目指す。

表 1 収集するデータの例

収集するデータ	提供を依頼する業界団体
塗料種別・需要分野別塗料出荷量	(社)日本塗料工業会
物質別使用量 需要分野別大気排出率	
接着剤種別・需要分野別接着剤出荷量 需要分野別大気排出率	日本接着剤工業会
インキ溶剤/希釈溶剤別・物質別使用量	印刷インキ工業会

2. 溶剤販売量に係る情報収集の方法

1) データの概要

溶剤には「バージン溶剤」と「外部リサイクル溶剤」とがあり、これらを合わせた販売量が全販売量となる。ただし、日本溶剤リサイクル工業会によれば、近年では「外部リサイクル溶剤」を溶剤メーカーへ販売している場合があるため、両者を明確に区分できない可能性がある。

2) データ収集の方法

統計データ、ヒアリング及びアンケートにより溶剤販売量データを収集する。使用する統計データの例を表 2 に示す。また、アンケート調査は溶剤の流通(図 1 にイメージ)についてヒアリング調査(表 3 にヒアリング先の例)で整理した後、調査対象を決定し、需要分野別の溶剤供給量についてアンケート調査を実施する。アンケート調査では平成 12 年度及び平成 17 年度における溶剤販売量の合計を把握するとともに、VOC 成分別の内訳や販売先の製品(塗

料、印刷インキなど)別内訳も調査を行い(表 4 に調査票のイメージ)、推計に用いる VOC 成
 分別の VOC 取扱量、発生源別の VOC 取扱量と比較を行う。なお、上記調査の際には、石油
 系溶剤等の適切な分類を考慮して調査を実施する。

表 2 溶剤販売量の把握に使用する統計データの例

統計データ	得られるデータ
化学工業統計年報(経済産業省)	主な物質別の販売量
化学工業年鑑(化学工業日報社)	主な物質の用途別需要量
クロロカーボンの用途別需要(クロロカ ーボン衛生協会)	塩化メチレン、トリクロロエチレン、テトラ クロロエチレンの用途別需要量
2000 年 環境対応型溶剤の市場展望と 用途別動向((株)富士経済)	主な溶剤の用途別販売量

表 3 ヒアリング先の例

ヒアリング先	得たい情報
日本溶剤リサイクル工業会	外部リサイクル溶剤の流通実態 外部リサイクル溶剤の供給量
溶剤ブレンドメーカー 溶剤メーカー	溶剤の流通実態

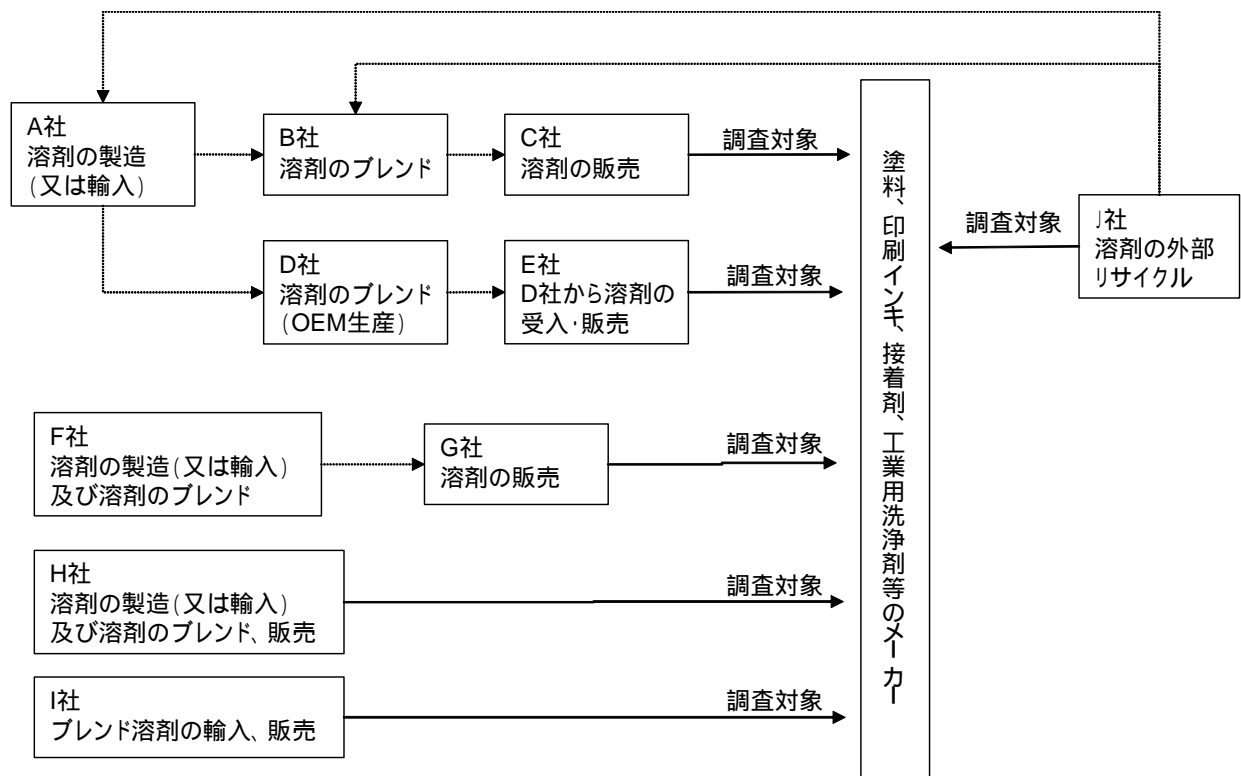


図 1 溶剤の流通方法の整理のイメージ

表 4 溶剤販売量の調査票のイメージ

VOC 成分	溶剤販売量 (t/年)					合計
	塗料 (希釈溶 剤も含む)	印刷 インキ (希釈溶 剤も含む)	接着剤	工業用 洗浄剤	その他 (具体的に)	
トルエン						
キシレン						
脂肪族系 石油系溶剤						
…						
…						
その他						
合計						